



小川小学校

HP:<http://ogawa-e.murakami.ed.jp>

令和4年5月13日
〒958-0268
村上市小川1-4
TEL:0254-52-2723
FAX:0254-52-4327

『深山に響く勇壮な朝日三面川太鼓』

校長 佐藤 進

今年度も朝日三面川太鼓の活動が始まりました。5、6年生45人の編成です。本来であれば、「六年生を送る会」でデビューするはずでしたが、昨年度は新型コロナウイルスの影響により実施できなかったのが、縄文の里での発表が新メンバーによる初めての発表になります。4月に入り、3学期に個人練習で覚えた動きを、全員で確かめ、何度も練習を重ねました。音を聞くだけで、日に日に上達していくのが分かります。最初は6年生に着いていくのがやっとの5年生でしたが、次第に全員のリズムが揃い始め、かけ声にも自信が感じられるほどに成長しました。

いざ、4月29日の本番の日。赤の法被姿に身を包んだ子どもたちは、とても凛々しく堂々としています。スクールバスを降りたときにはまばらだった観客も、本番前になると子どもたちの周りを囲むほどの盛況となりました。

いよいよ発表本番。代表児童のあいさつに引き続き、太鼓の音が山に響きました。大太鼓の力強い音の後には、樽太鼓のカッカッとリズムカルな音が続きます。時々腕を上げてバチ同士を叩く音が小気味の良いアクセントとなり、勇壮な演奏が縄文の里の屋外ステージに響き渡りました。演奏の最後、一斉に太鼓を叩き、手をあげた瞬間、万雷の拍手が鳴り響きました。最初は緊張した面持ちだった子どもたちも、やりきったことへの安堵感か、みんな素敵な笑顔になりました。

子どもたちにとって、学校以外での演奏は格別です。普段体験できない緊張感の中での演奏は、心を強くします。同時に、演奏を見てくださった方からの大きな拍手や家族からの賞賛は、自己肯定感を高めることにもつながります。努力が報われる瞬間です。子どもたちはきっと、この緊張感と満足感を次につなげよう、今度はもっと上手に演奏しようと思っていることでしょう。

今回、多くの保護者・地域の皆様から参観いただきました。たいへんありがとうございました。次の発表は2学期になるでしょうか。ぜひ楽しみにしてお待ちください。（「あさひちゃんねる」で5/12から放送されます。ぜひご覧ください）



心温まる「一年生を迎える会」

恒例の「一年生を迎える会」を行いました。感染症対策を万全にすることを意識しながら、密にならないよう気を付けて実施しました。最初に花のアーチをくぐって、6年生のお姉さんお兄さんと一緒に元気に入場しました。1年生の自己紹介では、みんなはっきりした声で堂々と話すことができ、上級生が感心していました。じゃんけんゲームや1年生クイズは上級生と仲良く取り組み、一喜一憂しながら正解発表を楽しみました。5・6年生の司会進行も上手で、場を盛り上げていました。最後に、6年生からのプレゼントを首にかけてもらい、嬉しそうに眺めている姿が印象的でした。どの学年も役割分担に応じて、1年生のために心を込めて準備してくれたので、心温まる会となりました。子どもたちにはこの温かい雰囲気の中で、伸び伸びと活動してほしいと思います。



1年生入場



じゃんけんゲーム



プレゼント渡し

火災想定での避難訓練を行いました

4月25日（月）に第1回避難訓練を行いました。授業中に理科室で火災が発生したという想定で、グラウンドに避難しました。年度始めの訓練でしたが、子どもたちはみんな真剣な表情で、ルールを守り、全員安全に避難することができました。避難の後には、学年ごとに普段は使わない、閉まった防火扉を開けて通る体験をしました。「閉まっても慌てないで扉を開けて通る」「扉の下の段差に気を付ける」ことに注意して体験しました。万が一、火災が起きた時には、落ち着いて行動してほしいです。



学習参観・学級懇談・PTA総会にご参加いただき、ありがとうございました

4月29日（金）の学習参観日には、たくさんの皆様にご来校いただき、誠にありがとうございました。久しぶりに子どもたちの学習の様子を生で見ただけでした。1から4年生は、教室で真剣に学習する姿を、5・6年生は縄文の里で朝日三面川太鼓を演奏するカッコいい姿を見せられたと思います。まだまだ感染症対策は気を抜くことができない状況ですが、できることから順次していきたいと考えています。ご協力をよろしくお願いいたします。

